



人道的プロジェクト推進の指針

世界でよいことをしよう

国際ロータリーのロータリー財団の人道的プログラムから資金が提供されるプロジェクトや活動を推進するための指針

ロータリー財団の人道的プログラムを通じて人々に奉仕するロータリアンは、「世界でよいことをしよう」というロータリー財団の標語を実践しています。しかし、「世界理解、親善、平和を達成する」という財団の使命についてはどうでしょうか。財団の目的を成就するには、ロータリーの人道的活動をできるだけ多くの人々に伝えることが極めて重要です。ニュースメディアを活用したり、広報活動を行ったことで、最も効果的にこれを実践することができます。

財団の人道的プログラムの多くは、2カ国以上のロータリアンが参加して実施されます。その場合、プロジェクトの話題を伝えるメディア市場が少なくとも2つあるということになります。

2カ国以上のメディアを通じて、ロータリーの奉仕活動の様子を生き生きと伝えることで、次の2点を増進することができます。

- 世界理解と親善
- 一般市民の理解、参加、支援

常に話題をメディアに取り上げてもらえるよう、広報活動に力を入れることが重要です。メディアを通じてロータリーの話題を伝えることは、ロータリーの公共イメージを向上させ、多くの人々にロータリーを知ってもらえるだけでなく、将来、会員、寄付者、ボランティア、あるいはプロジェクトの支援者となる可能性のある人々の関心を呼ぶことにもつながります。

ロータリーの公共イメージの向上は、クラブと地区の協力があってはじめて成功するものであり、地元レベルでの広報が不可欠です。ニュースはすべて地元に着したものであるよう心がけてください。他国で実施されているプロジェクトであっても、必ず地元の視点を取り入れるようにしてください。

プロジェクトや活動に関与するすべてのクラブと地区の広報委員長およびロータリー財団委員長と協力しながら、メディア向けの対策を立てる際に以下の指針をご活用ください。



計画

どのような人道的活動もメディアの話題となる可能性があります。その可能性を効果的な広報として実現させるには、計画が必要です。プロジェクトの最初から、関係するすべての地区ガバナー、広報委員長、財団委員長のアイデアや協力を求め、また、活動を支援したり、力を貸してくれそうな他団体や機関には情報を伝えるようにしましょう。

ロータリーの人道的活動に対して一般の人々の参加、支援、理解が得られるよう、十分調整の取れた推進計画を立て、その要点を補助金の申請書にも記入するようにします。

地域社会での推進

調整の取れた推進計画を立てるため、地域の各方面からの支援を仰ぎます。政府や地方自治体、他団体からアドバイスを得たり、プロジェクトを支持してもらえる一方、こうした協力関係はメディアの関心を引きつけるきっかけにもなります。教育当局や保健当局などから、プロジェクトが地域社会にいかに関与するかを示す推薦の言葉やコメントを寄せてもらうことで、プロジェクトの周知を図ることができます。ビジネスや職場の関係者からは、設備や施設、サービスを無料で提供してもらったり、財政的な支援を得られる可能性があります。地元地域のリーダーや有力者の支持があれば、プロジェクトが人々に受け入れられるようになり、さらに多くの人々にプロジェクトを周知させることができます。



ROTARY INTERNATIONAL®

One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
www.rotary.org

メディア

活動に参加する全地区で、新聞・出版、テレビ、ラジオ、インターネットの各メディアの連絡先リストを作成します。

プロジェクト内容と主な参加者のプロフィールを簡潔にまとめます(1ページ以内)。

人道的プロジェクトを開始する前に、対象となるメディアにそのプロジェクトについて伝えておきます(プロジェクトの開始式を行うのも一案です)。プロジェクトの実施中に目覚ましい進展があればメディアに伝え、プロジェクト終了時には結果を数字で表したり、参加者の体験談をまとめるなどして、再びメディアに連絡をします。型通りの寄贈式よりも、直接参加型の活動を計画した方が、メディアが高い関心を示すでしょう。

写真やビデオ、活動の受益者や当局者からの証言を集めて、プロジェクトをメディアに説明します。プロジェクトの実施計画に、こうした写真やビデオ等の制作も含めておくとい良いでしょう。

あなた自身を含め広報に経験豊かな人が代表としてプロジェクトのスポークスパーソンとなります。また、プロジェクトについて詳細な情報を提供できる人の連絡先や、いつ連絡すればよいかなどを記者に伝えておきましょう。ロータリアンでない人がスポークスパーソンとなる場合は、その人がロータリーについて十分に理解し、基本情報を持っていることを確認しておきましょう。ロータリーは、メディア向けの概要資料を用意しています。

プロジェクトの実施国以外でメディアが話題を取り上げた場合は、発展途上国におけるニーズを広く知ってもらえることに加え、そのニーズに取り組むロータリーの活動にも注目を集めることができます。プロジェクトの話題が紹介されることで、プロジェクト資金の調達にも役立ちます。さらに、協力団体が、模範例としてロータリーのプロジェクトを出版物で紹介する可能性もあります。

ソーシャル・メディア

ソーシャル・メディアとは、利用者がアイデアや意見をウェブサイトに投稿することで、互いに交流する場を提供するものです。具体的には、討論フォーラム、ブログ、掲示板といったものが挙げられます。ソーシャル・ネットワーク・サイトも、ウェブ上のフォーラムの一つとして、人道的プロジェクトの推進に活用することができます。このようなサイトでは、関心や価値観を同じくする利用者がインターネットを通じて結びつき、互いに支援し合うことができます。また、ソーシャル・ネットワーク・サイトに参加することで、プロジェクトとロータリーについて人々に広く知ってもらい、支援を集めることができます。

ブログは、テンプレートを基に作られたウェブサイトで、ウェブの作成者が簡単に内容を更新することができます。ブログを利用すれば、人道的プロジェクトの話題をオンラインで広めることができ、簡単、かつ安価な方法で広報を行うことができます。また、多くの記者が話題探しにブログを見ているため、ロータリーの話題をメディアに提供する機会ともなります。例えば、人道的プロジェクトを始める際にブログを設けて、人々のコメントや写真、ビデオを使ってプロジェクトを記録することができます。地元のメディアにプレスリリースを送る際に、このブログへのリンクを付けるといでしょう。これによって、記者がプロジェクトの進展を随時確認することができ、新たな話題づくりにつながります。

ポッドキャスト(iPodとブロードキャストの略)は、インターネット上で配信されるデジタル音声ファイルで、通常、定期配信を行います。ブログと同様、簡潔で的を絞ったポッドキャストが成功しています。例えば、クラブのプロジェクトによって恩恵を受けた人々のインタビューをまとめてポッドキャストを作ることができます。メディアに取り上げてもらえるよう、高音質で、印象に残る証言を集め、プレスリリースにポッドキャストへのリンクを付けるようにします。

プロジェクトを記録した感動的なビデオも人々の認識を高めるのに役立ちます。インターネットでは、文書ファイルをアップロードするのと同じように、手軽にビデオファイルをアップロードすることができます。アップロードしたビデオを公開できるサイトが数多くあり、これを活用して、プロジェクトをオンラインで推進することができます。サイトによって利用できる機能は異なりますが、多くの場合、無料でビデオをアップロードし、簡単な編集を行うことができます。ロータリアンやプロジェクトの恩恵を受けた人々からの言葉を集めて、プロジェクトを記録するビデオを作るのも一案です。このビデオを地元のメディアに提供すれば、話題として取り上げてもらえる可能性が高まります。公共奉仕広告やロータリーの活動を撮影したビデオは、YouTubeのロータリー専用ページをご覧ください。

特別行事

パレード、レセプション、開始式、寄贈式、表彰式などは、ロータリーの人道的プロジェクトに一般の人々の注意を引きつける機会となります。ひらめきと想像力を駆使して、奉仕活動のもたらす成果を生き生きと伝えてください(現在実施中のもの、終了したもの、計画中のもの)。このような行事には、プロジェクトの支援者や受益者に加え、政府の高官、当局関係者、著名人なども招くとよいでしょう。行事でのスピーチは、簡潔で説得力のあるものにします。

プロジェクトの計画はこうした行事を含めて立てるようにします。メディアには行事について事前に知らせるようにしましょう。

展示、ポスター、パンフレットなど

効果的な推進を行うことによって参加者や協力者を募ったり、新たな財政的支援を確保したりすることができるため、しばしば、推進活動がプロジェクトの成功の鍵を握っています。可能であれば専門のデザイナーに依頼し、出版物、ポスター、公共広告資料といったすべての媒体に同じデザインを使用して統一性を持たせることで、同じプロジェクトであることが一目でわかるようにしましょう。

また、ロータリーの徽章を活用する方法を検討します。地区ガバナーの便箋にニュースリリースを印刷したり、写真撮影の際に徽章の付いた帽子やTシャツを着用するといった簡単な方法でもかまいません。徽章の使用については、「RI視覚的イメージのための手引き」(547-JA)を参照してください。

広報資料に掲載する基本情報

メディア用に資料を作成する際は、ロータリーとロータリー財団についての簡単な説明文を加えたり、世界各地で行われているロータリーの同様の活動について紹介したりします。以下の文例を参考にしてください。

- 1905年に設立されたロータリーは現在、200以上の国と地域に33,000のクラブと約120万人の会員を擁しています。
- ロータリーの世界的ネットワークは、ロータリー財団を通じて、人々の生活の質を向上させ、世界理解、親善、平和を推進する教育的・人道的活動を行っています。1947年以来、ロータリー財団は人道的・教育的プログラムと文化交流プログラムに20億米ドル近くを費やしてきました。
- 人道的プロジェクトでは、維持可能な開発を目的に、地域のロータリアンが特定した地域のニーズに取り組んでいます。

国際ロータリーとロータリー財団に関する概要資料は、ウェブサイト(www.rotary.org) からダウンロードすることができます。その他の情報や、ニュースリリース、メディア向け資料の例をお探しの場合は、RI広報部にEメール (pr@rotary.org)、電話 (1-847-866-3000)、ファックス (1-847-866-8237) にてご連絡ください。

広報資料

「Effective Public Relations: A Guide for Rotary Clubs (効果的な広報: ロータリー・クラブのための手引き)」(257-EN)

公共奉仕広告「人類のために活動します」のダウンロード:
www.rotary.org

公共奉仕広告「人類のために活動します」の注文

ロータリーの概要資料: www.rotary.org

ニュースレター「PR Tips (広報のコツ)」(英語)の定期購読:
www.rotary.org

その他の広報資料やRIの出版物はオンライン (shop.rotary.org) かRIカタログ (019-JA) を通じて、また日本事務局資料室 (03-3903-3194) からご注文いただけます。

事例研究

以下の保健、飢餓追放および人間性尊重 (3-H) 補助金プロジェクトは、前項で説明された段階をすべて実施しています。それぞれの段階について読み、自分のクラブでいかに採用できるかを検討してください。

フィリピンのCLE (集中言語能力助長プログラム)

フィリピンの学校の多くでは、教師1人が約50人の生徒を抱えています。教室や教員が足りないことのほかにも、学習環境は好ましくなく、読み書きのできない生徒がたくさんいます。第3800地区(フィリピン)は、英語の読み書きと理解を小学生に教える効果的な教授法、集中言語能力助長プログラム (CLE) と呼ばれるプロジェクトを採用しました。

計画

ロータリアンのグループは、推進活動を行う前に、専門の委員会を結成し、データを集め、教員用マニュアルを改訂しました。委員

会は、生徒、保護者、教員、そして地元の政府と非政府団体を対象に広報を行うことを決定しました。

特別行事

地区は、マンドラヨンの16校で展示コンテストを開きました。各学校は、CLEとは何か、また教員や生徒にどのような利点があるかを説明する展示を行いました。それぞれの学校の正門近くに設置されたこの展示は、多くの人の目にとまり、人々の理解と認識を深めるのに役立ちました。地区は、デザインと内容を考慮し、最も優れた3つの展示に200~300米ドルの賞金を贈りました。

地域社会での推進

CLEプロジェクトの成功を受けて、教育省は全市立学校に図書室の設置を義務付けるようになりました。地区は、一部の図書室で、推進用の展示を行いました。

メディア

政府運営のテレビ局に招かれた第3800地区のロータリアンは、CLEプログラムについて説明し、英語の読み書きと理解を生徒に教えるために、この教授用がいかに効果的であるか話しました。その内容は全国に放送され、CLEを用いたロータリーの活動について多くの人々に知ってもらうのに役立ちました。

表示

地区内のロータリー・クラブは、ロータリーとCLEのロゴ、そして情報をプリントした色鮮やかなTシャツを作り、生徒や教員に配布しました。クラブはまた、ロータリーのロゴとプログラム情報の入った初心者用の本を配布しました。

結果と人々の反応

CLEを利用して、ロータリーは350名の教員と15,000名の生徒を研修することができました。元参加者たちは、プロジェクトの提唱者となってCLEの普及に協力しているほか、ロータリーのイメージ向上にも貢献しています。地区は、教育省から支援を表明する書簡も受け取りました。



日付:02/20/07
電話:(123) 456-7890
Eメール:name@emailaddress.net
ウェブサイトまたはブログのアドレス:www.rotary.org

ニュースリリース

連絡先:Pete Helow

即時発行用

病院船の支援に取り組むジャクソン・ロータリー・クラブに15万ドルが授与される 補助金として過去最高額に

【フロリダ州ジャクソンビル 2007年2月20日】 ジャクソンビル・ロータリー・クラブは、アフリカ・マーシー号（病院船）を支援するため、国際ロータリーのロータリー財団より、15万ドルのマッチング・グラント（上乗せ補助金）を受け取りました。

このロータリー・クラブは、病院船を支援するプロジェクトのために48万ドル以上を集め、それにロータリー財団からの上乗せ補助金が提供されたかたちです。クラブは、テマ（ガーナ）およびモンロビア（リベリア）のロータリー・クラブと協力し、国際的プロジェクトを実施する予定です。上乗せ補助金を受領するには、ジャクソンビル・クラブが海外のロータリー・クラブと協力することが条件とされていました。

「このプロジェクトを通じて西アフリカの多くの人々の生活が劇的に改善されるでしょう。また参加する国の間で国際親善を築くことができます」と話すのは、ジャクソンビル・ロータリー・クラブ会長のジェリー・ナウアーさんです。「私たちのクラブは、地元の慈善活動のほかにも、こうして世界の最貧国のニーズに取り組んでいるのです」

クラブが属する国際ロータリーの第6970地区は、フロリダ州北部と中央部に57のクラブを擁しています。今回の15万ドルの授与は、同地区のクラブが受け取った最高額の補助金となりました。

「20年以上にわたってロータリーは病院船のために素晴らしい支援活動を行ってきました。国内外でロータリーと協力できることを大変光栄に思います」と話すのは、病院船を運営する非営利団体、「マーシー・シックス」の創設者で現会長のドン・スティーンズさんです。

ジャクソンビル・クラブに、マーシー・シックスがアフリカのニーズに応える協力者を探していることを知らせたのは、昨年ジャクソンビルを訪れたジョン・メージャー英国元首相でした。

アフリカ・マーシー号は、アフリカの人々に医療を提供し、開発援助を行うこと目的に作られた16,572トンの病院船です。この春、英国から初出航したアフリカ・マーシー号は、内戦で荒廃したリベリアに向かっていきます。先週ガーナで乗船したテマ・ロータリー・クラブの会長代理、アコ・オドテイさんは、この補助金プロジェクトにガーナのクラブも協力することを発表しました。

国際ロータリーは、事業と専門職務および地域社会のリーダーから成るボランティア団体で、人道的奉仕活動を行いながら、世界の親善と平和の確立に努めています。世界200以上の国や地域に33,000のロータリー・クラブが存在し、約120万のロータリー・クラブ会員が活動しています。詳細は、ウェブサイト(www.rotary.org)をご覧ください。

###

ニュースリリース定型書式

補助金プロジェクトを紹介するプレスリリースを地元のメディアに送る際に、本文書をご活用ください。できれば、独自の内容を加え、写真(1枚)を添付してください。

日付:
電話:
Eメール:
ウェブサイトまたはブログのアドレス:

ニュースリリース

連絡先: [氏名]

即時発行用

[タイトルを挿入 (生き生きとした言葉で)]

第1段落

(都市/日付) — [クラブ名] ロータリー・クラブに、国際ロータリーのロータリー財団より [3-Hまたはマッチング・グラントについて説明。いつ、どこで、それが、なにを、どのように、という情報を含める] が授与されました。

第2段落

プロジェクトに参加しているすべてのロータリー・クラブ、専門職団体や他団体を含め、全関係者をここで紹介します。

第3段落

人道的補助金または3-H補助金の重要性を説明するために、統計的な基本情報を入れます。

第4段落

クラブ会員または受益者からのコメントを挿入します。

第5段落

適切な場合には、重要な期日や補助金の具体的な用途など、プロジェクトの過程を簡潔に説明します。

最終段落

国際ロータリーは、事業と専門職務および地域社会に携わるリーダーによるボランティア団体で、人道的奉仕活動を行いながら、世界の親善と平和の確立に努めています。世界200以上の国や地域に33,000のロータリー・クラブが存在し、約120万のロータリー・クラブ会員が活動しています。詳細はウェブサイト (www.rotary.org [またはロータリー・クラブか地区のウェブアドレスを挿入]) をご覧ください。

###